

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月26日		記入者	武井邦夫	連絡先	(750)8030
平成18年度部名	生涯学習部		課名	博物館	課長名	井上 進
平成19年度部名	生涯学習部		課名	博物館	課長名	大貫英明
事務事業名	施設維持管理及び補修事業					
予算上の事務事業名	施設維持管理及び補修経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15110		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
博物館法	市立博物館条例					
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	平成7年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）	
博物館事業の円滑な運営を図る。 *24時間稼働の収蔵庫空調管理システムを始め、高度な維持管理システムを持つ施設であり、委託業務は20を超える。定期的なメンテナンスとともに、開館12年目を迎え、施設・機器類の老朽化が散見され、計画的な補修・更新が求められる。					相模原市立博物館	
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
●施設の維持管理に要する費用・・・159,773千円 <主な経費> 総合管理業務委託（27,820千円）、受付案内業務委託（28,535千円）、清掃業務委託（12,010千円）、自動制御機器保守委託（4,806千円）、水処理装置保守委託（2,814千円）、冷温水発生器保守委託（2,363千円）、プラネタリウム保守委託（3,930千円）						
●施設維持補修に要する経費・・・6,000千円 <経費の概要> 建屋全般、維持管理設備、警備関係機器、照明類、観測機器、プラネタリウム、全天周映写機、常設展示、収蔵施設等に関する維持補修経費						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
当館と同じく平成7年にオープンした類似施設としては、県立生命の星・地球博物館（小田原市）や横浜市歴史博物館があるが、両施設とも10年目を境に施設・設備各所でトラブルが発生している状況で、随時或いは計画的に的確な修繕・対策が図られるよう内部で調整中とのことである。						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	154,323	154,703	154,211	159,086	160,000	
一般財源	154,323	154,703	154,211	159,086	160,000	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	12,105	1,208	1,208	1,208	1,208	
事業コスト合計	166,428	155,911	155,419	160,294	161,208	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	総合管理業務委託			対象名称 と単位	1日当たり管理経費	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	29,253	27,820	27,470	27,500	27,500	
対 象 数	303	301	303	304	303	
単位あたり経費(円)	96,545	92,425	90,660	90,461	90,759	
前 年 度 比		0.96	0.98	1.00	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの						

指標名と単位	保守点検及び未然防止修繕の実施	指標式と指標の説明	保守点検及び未然防止修繕に要する経費対16年度ベースの維持		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	77,358.0	75,201.0	76,591.0		
目標	77,358.0	77,358.0	77,358.0	77,358.0	77,358.0
目標達成度(%)	100.0	97.2	99.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	修繕箇所数の抑制	指標式と指標の説明	修繕箇所数（未然防止修繕を除く）の対16年度10%減		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	26.0	21.0	19.0		
目標	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0
目標達成度(%)	88.5	109.5	121.1		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		保守点検と、故障の未然防止を目的とした修繕の実施は、故障箇所数を抑制する効果が大きい。今後、的確な未然防止に努め、故障箇所数及び維持管理費の抑制を図りたい。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
要修繕箇所の的確な見極めが、未然防止効果を高める上で重要であるため、総合管理委託業者及び自動制御機器保守委託業者と連携を図り、計画的な未然防止的修繕を実施する。			修繕に要する経費を抑制することは重要であるが、開館から12年を経過し、一部施設・機器では更新時期を迎えているものもある。今後は、計画的に老朽化への対応を進める必要がある。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			